

8月・12日

MON 月曜日

かみさまと そつう したいです

使徒3:1~10 ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。(1)

あるレムナントが質問しました。「どうしても伝道をすべきなのですか。無理に伝道をしなくても良いのではないですか」この質問に対して返事をする前に、一つ考えてみる必要があります。

地球のあちこちでは、まちがった道をしめす宗教が「雨後のたけのこ」のように起きて、数多くの人を暗やみの勢力に導いて、苦しむようにさせています。特にうつ病になって自殺する人が多くなっていると言われています。このようなときに、教会では「ただイエス・キリスト」というみことばを正しく聞かせてあげられずにいる状態です。そうしたら、世の人はこれ以上、キリスト教は必要ではないという話までしています。

神様は、このような事実に対して、胸を痛める者を探しておられます。ただイエス・キリストでなければだめだという答えを持って、伝道の門を開けてくださいという祈りをする人に、神様は伝道の現場を任せられます。こういう人は神様と心が通じる人です。私たちも神様と疎通して、伝道に用いられるために、伝道者の生活を新しくはじめましょう。

3Today

きょうの みことば

ホセア 6

いちにち、1しゅう かみさまの
みことばを よもう！

きょうの いのり

きょうの でんどう

でいにくいはいに せいのうしを
チェックしよう

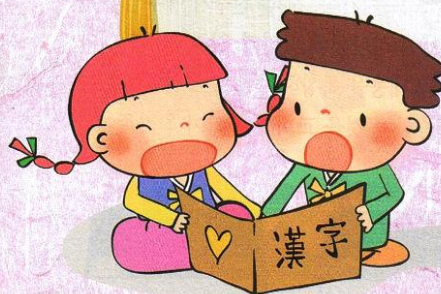
2013. 4. 9 (新しい家族修練会 3 講)

ことわざをおぼえよう

神様は、神様を離れて少しだけの喜びと幸せを求めている世の中の人に、福音を伝える物をさがしておられます。神様と心が通じる伝道者は、死んで行くこの世を生かすことができます。

雨後のたけのこ

雨がふったあと、出てくるたけのこの意味。同じような物事が次々と現れ出ることのたとえ。



愛の神様！毎日神様と心が通じますように。神様が喜ばれる心を私にもください。今日も幸せな伝道者の生活を送ることができますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



8月13日

TUE 火曜日

しっ!いのりで しゅうちゅうしょう

使徒1:3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

復活されたイエス様は、天国に上られる前まで 40日間、弟子たちに現れて見せながら復活された事実を人の前で証明されて、神の国に対してこまかく語られました。

40日間の訓練を終えて、マルコの屋上の間に集まった弟子たちは、何かを決心していて、目が違っていました。イエス様のみことばを握って、ひたすら祈りに集中しました。結局、すべての人は聖霊に満たされて、福音を伝える伝道者に変化しました。

祈る牧会者として有名なイワン・パウンジョ牧師先生は「世の中のすべてが息をひきとるとしても、神の子どもがする祈りは永遠に生きている」と言いました。神の子どもであるみなさんが、イエス様の御名で祈るとき、暗やみの勢力は離れて、行くところごとに聖霊が働かれるため、現場は変化するでしょう。イエス様を知らない家族、親戚、友だちがイエス様を受け入れるように祈りましょう。その人々に神の国が臨むようになるでしょう。聖日礼拝のとき、みことばを受けてその内容を黙想して、祈りで集中しましょう。みことばを黙想して祈りに集中することを、教会の先生や家族や友だちとともに実践してみましょう。

3Today

きょうのみことば

ホセア7

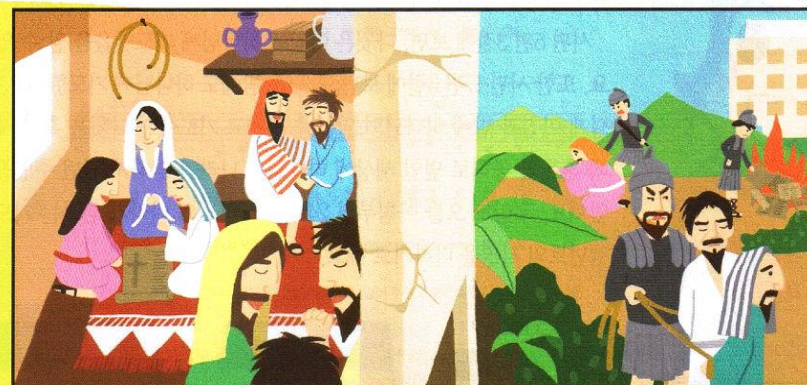
いちにち1しゅう かみさまのみことばを よもう!

きょうのいのり

きょうのでんどう

ちがう箇所は5つです

ちがいさがし



父なる神様。イエス様のみことばを心に刻んで祈りと伝道に集中した弟子のように、私も毎日祈りに集中したいです。神様のみこころどおりに生きることができるよう、導いてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



8月15日

THU 木曜日

レムナントの かぎりない ちょうせん

Iサムエル 24:16~22 あなたが私に良いことをしていたことを、きょう、あなたは知らせてくれた。主が私をあなたの手に渡されたのに、私を殺さなかったからだ。(18)

「人は私をいやがって避けようとしています。でも、ひとまず一度会ったら、私にぐっと陥ってしまいます」ここで話す私はだれでしょうか。正解は「問題」です。

レムナントに問題や困難がくれば、問題を避けて逃げずに、問題に勝つために限りない挑戦をしましょう。私たちは、神様がともにおられる最高の身分でしょう。ひょっとして、答えがなくて、私の心を分かってくれる人がなくて孤独な気がします。孤独の時間は、問題と戦って勝つための最高の時間です。みことばを聞いたり、読んだりしながら、黙想して、神様と対話してみましょう。むしろ、インマヌエルを味わう最高の幸せな時間です。「勉強をしたくなくて、習い事に行きたくない。ぜんぶ、みんなきらい」こういうレムナントはいますか。多くの未信者がサタンの権威を高めながら、世の中で実力を育てて成功した後に、神様と教会に敵対しています。レムナントのみなさんが実力を育て、力をつける理由は、暗やみの世の中に勝つためです。

危機だと思ふほど、大きい問題がきたのですか。問題のために揺れても、神様は問題を通して世界福音化を成し遂げていけます。問題がきた時は危機でなく、未来を準備する機会です。

3Today

きょうの みことば

ホセア9

いちにち、1しやう かみさまの
みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

こども あかし文

ソヨンちゃんは、福音ハナ教会に集っている小学校2年のレムナントです。

活発で、友だちに配慮することができる、すてきな子です。それで、友だちがとてもたくさんいます。ソヨンちゃんは、クラスの委員長選挙で、堂々と委員長に選ばれました。ところが、問題はそのときから起きはじめたのです。委員長選挙で落ちた子が、ソヨンちゃんをきらいはじめたのです。ソヨンちゃんをなんの理由もなくたたいて、ののしりました。友だちに悪口を言うこともありました。ソヨンちゃんは、レムナントなので、その友だちと同じことをすることはできません。ソヨンちゃんは、毎日、大変で苦しくて、暗い思いにもなりました。特に学校は、もっともって行きたくなくなりました。

それで、ママといっしょに、その友だちのために祈りはじめたのです。その友だちにきらいだと思わせて、いつもソヨンちゃんを苦しめる暗やみの勢力も、イエス・キリストの御名によってしばらくしてから、おどろくことがおきたのです。その友だちが、もうソヨンちゃんを苦しめなくなりました。むしろ、ソヨンちゃんを好きになりはじめたのです。そして、教会にも来るようになって、イエス様を受け入れて、神の子どもになりました。ソヨンちゃんが問題に陥ったときは、心が痛くて、苦しくて、学校に行くのがいやでした。

しかし、問題に対して戦うために、神様に大胆に祈ったら、神様がくださる答えを体験することができたのです。また、その友だちが神の子どもになるおどろくべき答えを受けたのでした。

神様! 問題を避けたり、問題の中におちいったりするのではなく、インマヌエルを味わい、未来のために挑戦するレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

FRI 金曜日

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

わたし じんせい みちび さま み あ せかいふくいんか
 私たちの人生を導いてくださるイエス様を見上げながら、世界福音化
 のすてきな音楽に合わせるとつになるとき、教会も生かされ、現場も生か
 されるでしょう。

父なる神様、私の教会の牧師先生、重職者とレムナントが福音の3
拍子となり、福音でひとつになるようにさせてくださり、教会と現場
を生かしますように。とイエス・キリストのお名前によっておいのりし
ます。アーメン

8月 17日

SAT 土曜日

おはなし もくそう

かみさまの まえで おもいわずらい、 しんはい すべての なやみを すてること

昔、ウィリアム・ケアリーという宣教師がいました。その宣教師は、多くの人を神様の前に導く働きを先に立ってしていました。それで、すべての力と時間と自分の才能を伝道することに使いました。死んでいく多くの人を生かすのが神様がケアリーにくださったビジョンで、

ケアリーが世の中を生きる理由でした。

特にケアリーは、幼い時からリーダーシップが特別にすぐれていました。村のあちこちに植えられている大きい木に裸足で登ったり、友だちと見慣れない村に遊びに行くことが好きでした。

危険なことを気にせず、勇氣あるように率先してするケアリーを、友だちはとても頼って従

いました。ところが、ある日、ケアリーは木から落ちてしまいました。他の木は簡単に上がれたのですが、一本の木だけは上がれなかったという欲のために起きた事故でした。

上がることのできない木に登って、結局、事故にあったということです。

3Today

きょうの みことば

ホセア11

いちにち 1しゅう かみさまの
みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

ケアリーは、思ったより大きなケガをして、しばらくは外に出ることができませんでした。「ケアリー、この世を甘く見たらだめですよ」ケアリーは、両親に激しく叱られて、ムチャクチャな自分の姿を振り返るようになりました。ベッドに横になっていた時間が長くなるほど、神様と対話する時間も長くなりました。彼の部屋は神様が創造された花と木で、どんどん変わって行きました。ケアリーは、神様がくださった世界をととても愛するようになりました。

ケアリーは、毎日、神様がくださった恵みで生きるために、神様にひざまずいて祈ることもやめませんでした。幼いときに、むちやをした性格のために苦しんだのですが、神様はケアリーのリーダーシップが強い姿を大きく用いられました。私自身に問題が多くても、神様は神様の前にひざまずく人を無視されません。神様は小さいさやきでも神様に求めて、神様と対話することを切実に願っておられます。

今、悩んでいる問題はなんですか。神様の前にひざまずいて祈れば、私たちの小さい問題までも、伝道の大きい門として用いられるでしょう。